

ホームページへの掲載	
済	7月12日 掲載予定

岐阜県立岐阜城北高等学校

学 校 長 赤坂 和之

学 校 住 所 岐阜市三田洞465-1 電話 058-237-5331

1 会議の名称 学校評議員会 (第1回)**2 会議の構成** 評議員 白幡 久美子様 中部学院大学短期大学部教授
安藤 武司 様 岐阜北ロータリークラブ会員
藤吉 礼三 様 元PTA会長
河野 隆 様 はなぞの北幼稚園園長
井深 孝敏 様 三田洞第5自治会長学校側 赤坂 和之 校長
大野 道生 教頭
宮田 慶美 教頭
三輪 英明 事務長
吉田 美智代 教諭 (教務主任)
篠田 祥史 教諭 (生徒指導主事代理)
林 充宏 教諭 (進路指導主事代理)
森 公彦 教諭 (教務)**3 会議の目的** 学校運営や教育活動について、地域や関係機関の方から要望や意見を聞き、特色ある学校づくり、地域に貢献できる学校づくりを目指す。**4 会議の開催** 平成30年6月28日(木) 13:30~15:45 岐阜城北高等学校 校長室他
委員4人(白幡様は公務のため御欠席)と学校側8人が出席

- (1) 学校長の挨拶
- (2) 委嘱状の交付
- (3) 出席者自己紹介
- (4) 授業参観(第5限)
- (5) 協議
 - ①学校経営方針と計画
 - ②各分掌の取組
 - ③本校への提言

5 会議の概要

- | |
|--|
| (1) 学校概要及び学校運営の方針について <ol style="list-style-type: none">①平成30年度学校経営方針、学校経営計画②各分掌の取組について(教務部、生徒指導部、進路指導部)③授業の取組 |
|--|

意見 1 専門的な分野の学習を見せていただき、自分で選択した科目なので、楽しんで授業を受けている様子が伺えることができて良かった。**意見 2** インターンシップや外部講師の力を借りて多くの行事を計画し取り組んでいることは大変良いと思う。インターンシップは、どのように行っているか。

〔回答〕 総合学科の2年生が7月4、5日で、各企業に職場体験という形で実習に行く。今年度初

めて、芸術系列の生徒全員がメディアコスモスにてインターンシップを実施させていただいている。

意見 3 現在、全国で凶悪な事件が多く発生しており、ニュースによると背景には過去にいじめがあったとの情報が流れる。今、岐阜城北高校でいじめで困っている生徒はいないか。

〔回答〕 今、6月中旬に実施した迷惑調査の集計中だが、深刻なものはない。深刻にならないように、普段から様子をみたりアンケートに記入があった場合は、直ぐに聞き取りをしている。

意見 4 不登校になっている生徒はいるか。

〔回答〕 本校は、生徒が3日連続で欠席した場合、保護者と必ず連絡を取り、なるべく状況を詳細に把握するようにしている。また、昨年の10月より20日以上欠席した場合は、欠席の理由がいじめが原因でないか本人と保護者に確認をしている。不登校の基準は年間30日以上欠席とされており、いじめと認知した場合は、重大事案となり第三者委員会を立ち上げ審議されることになっている。今は友人とのトラブルをすべていじめではないかと保護者や本人も訴えてくることあるため、神経質にならざるを得ない。調査で分かった生徒に関しては対応しているが、特に分からない生徒に関して、注意深く様子を見て対応していく必要性を感じている。

意見 5 SNSの問題が多く取り上げられているが、スマートフォンの対応はどうしているか。

〔回答〕 朝のSHR前に電源を切り、帰りのSHR終了後電源を入れて良いと指導している。違反した生徒は、約一週間の預かりと反省文によりルール指導をしている。学校によってはすべて預かる指導もあるが、本校は自己指導能力をつけさせたいので、各自の管理にしている。ただ、あまりにも守れない場合は、クラス単位で全員預かることもある。

意見 6 一年間で退学する生徒は何人ほどいるか。

〔回答〕 三年間で5～7名程が転学退学している。

意見 7 生徒が先生を評価しているのは、良いことと思うが、他校でも行っているのか。

〔回答〕 評価項目は学校によるが、「授業の説明はわかりやすい」など10数項目による評価をしている。公開はしていないが、先生方の研鑽のため春と秋に2回実施している。各自集計したものを管理職に報告している。

意見 8 ICTの活用について、幼稚園では15年前までは使っていたが、これだけ家庭に普及してくると、幼稚園で指導するものではなくなり、今はしていない。しかし、保護者のスマートフォンを園児がスワイプして遊んでいるのを見る。よって英語の授業では、スマートフォンを取り入れている。大垣の私立高校では、生徒個人にタブレットを持たせ、欠席、遅刻、授業変更などの連絡にも使っているようだ。

〔回答〕 中学校では、タブレットや電子黒板、電子教科書を使って授業を進めている学校もある。県立高等学校では、難しいところもあるが、ICT教育や新しく大学入試にも対応しながら検討していきたいと考えている。

6 会議のまとめ

貴重なご意見をいただいた。生徒の様子を見ていただくのが、一番本校をご理解いただけるものと考えている。いただいたお褒めの言葉は頂戴して、提言については、できることから取り組んでいきたい。今後も、様々な取組を見ていただき、助言をいただきたい。